

難病療養者と家族を取り残さない 防災・減災ネットワークの形成

日時：2025年3月11日（火）15:00～18:00（14:45～受付）

場所：静岡県立大学看護学部（小鹿キャンパス）教育棟 251

対象：学部生・大学院生・看護師特定行為研修生、教員、社会人

申込方法：当日ご来場してください。途中の入退出も可能です。

15:00～16:00

テーマ1：アクティブに学んでみよう！

訪問看護事業所の災害時BCP（事業継続計画）

講師：石田千絵（日本赤十字看護大学地域看護学教授）

16:00～17:00

テーマ2：共生型福祉に基づく災害・減災支援：難病患者への支援が
示す地域結束の重要性

講師：野中美保子（共生型福祉複合施設 ラポールあい）

話題提供：地理情報システムによる訪問看護ネットワークの可視化
堀芽久美（静岡県立大学保健学准教授）

17:15～18:00 ラウンドテーブルセッション

近年、日本各地で自然災害が私たちの命と生活を脅かしています。こうした現状において、特に避難の優先順位が高い難病療養者や高齢者に対する支援の必要性は高まっています。1991年に訪問看護制度が創設され、34年が経過しました。訪問看護事業所は全国に15,697か所となり、難病看護の提供拠点としてその存在感を増しています。

本講義を通じて、「住み慣れた地域で安全に安心して治療やケアを受けながら暮らし続けたい」と願う難病療養者・家族への支援について一緒に考えてみませんか。



【問い合わせ】

〒422-8021 静岡市駿河区小鹿 2-2-1 TEL:054-202-2050（代）tomiyasu-m@u-shizuoka-ken.ac.jp

静岡県立大学大学院看護学研究科 在宅看護学分野 富安眞理